

(ご案内)

令和3年度 産地水産加工業イノベーションプラン支援事業

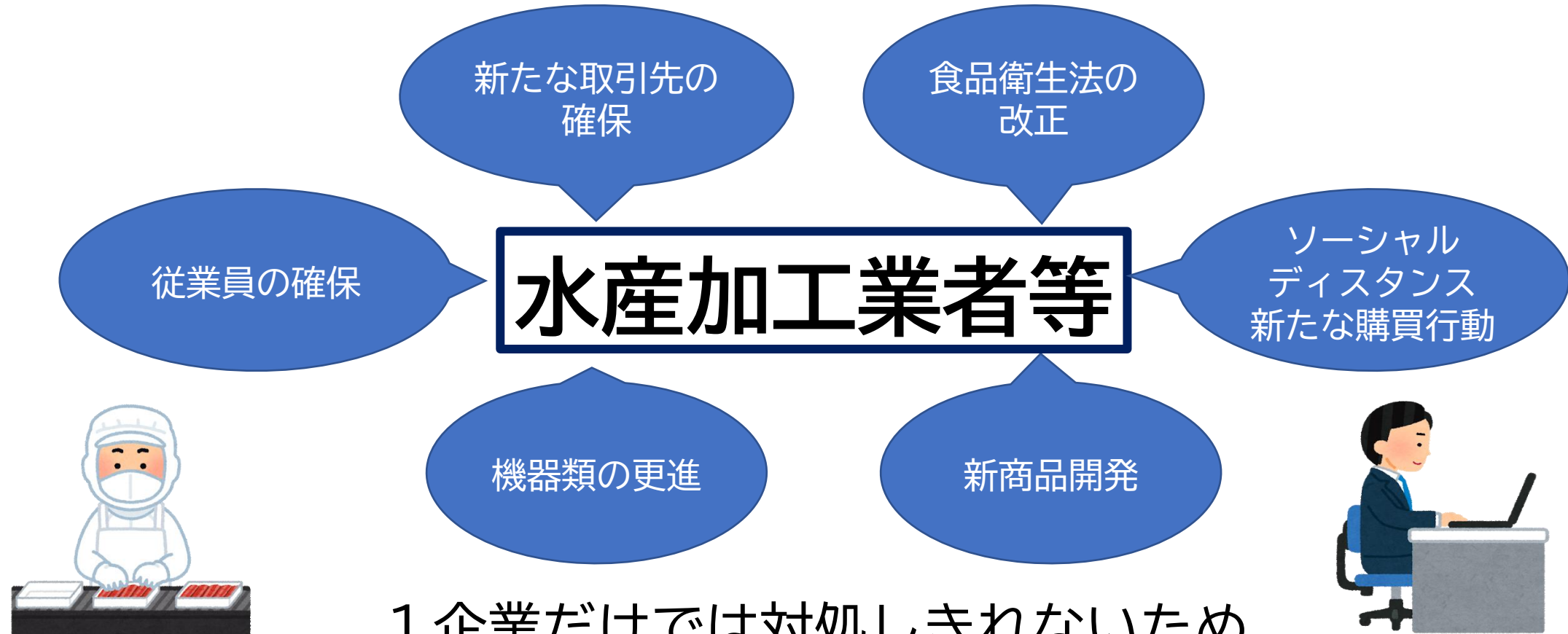
【イノベーションとは】

それまでのモノ・仕組みなどに対して全く新しい技術や考え方を取り入れて、
新たな価値を生み出して社会的に大きな変化を起こす行為のこと

公益財団法人 水産物安定供給推進機構

※産地水産加工業イノベーションプラン支援事業のご案内

水産加工業を取り巻く環境・社会的要求は多岐に渡る



1 企業だけでは対処しきれないため

色々な人たちと協力して解決しましょう！

【支援その1】

中核的人材育成支援事業 (産地水産加工業活性化推進検討会への支援)

※若手経営者のレベルアップを支援します

域内の水産加工協等の仲間(若手経営者チーム)で、
足りない点や改善したい点を抽出しましょう。



全般管理 (インフラストラクチャー)				
人事・用務管理				
技術開発・衛生管理				
原材料の調達				
資金管理				
購買物流	製造	出荷物流	マーケティング販売	サービス



この事業では、産地水産加工業がレベルアップするための

若手経営者チーム

による次のような取組（産地水産加工業活性化推進検討会）
を支援いたします。

1 講師等を招いて開催する講義や議論のための経費

例：販路開拓・経営改善・輸出促進・チャンネル開拓・衛生管理

2 先進地や消費動向を把握するための調査・視察の経費

視察例：地域ブランドの活用事例・共同加工実施例

【支援その2】

産地水産加工業イノベーションプラン策定・実行の支援

※産地水産加工業に新たな風を吹き込む

域内4者以上の水産加工業者が、関係機関や異業種と連携して(プラン協議会)、課題解決のため取組むための費用を支援します。

(解決する課題)

- 産地加工業者の連携による新たな商品、パッケージの開発
- 協業化によるコストの削減
例：衛生管理、成分分析、製造管理ソフト開発、
コールセンター業務、共同仕入れ、販売
- 共同販売促進・新たなチャネル開拓
例：消費者との双方向通信を使った試食・販売会

各事業の比較 その1

	産地水産加工業活性化推進検討会	産地水産加工業イノベーションプラン
事業の内容	産地の水産加工業者の若手経営者等がチームを組み、レベルアップに向けた研修の場づくりと、これを通じた水産加工業者の中核的な人材の育成、課題解決のために必要なスキルを取得するための取組	個々の水産加工業者だけでは解決が困難な課題を解決するため、関係機関(行政、商工会議所等)や異業種(研究機関等)と連携して、事業の協業化等を行うことで生産性を向上させる計画を作成・実行する取組
参加者の要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>水産加工業者の若手経営者が4者以上参加</u> ※ただし、100%同一の資本に属する子会社、関係会社、及び同一の水産加工業者からの参加は1者とします。 ・ <u>参加する若手経営者は原則50歳以下</u> ・ <u>主たる事務所を所有する代表者が定められている</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>水産加工業者が4者以上参加</u> ※ただし、100%同一の資本に属する子会社、関係会社の参加は1者とします。 ・ <u>関係機関及び異業種がそれぞれ1者以上参加</u> ・ <u>主たる事務所を所有する代表者が定められている</u>
R3 助成予算等	8,389千円 (20チーム目途)	<u>19,798千円 (4協議会目途)</u>



各事業の比較 その2

	産地水産加工業活性化推進検討会	産地水産加工業イノベーションプラン
助成対象経費	賃金、謝金、旅費、その他水産庁長官が認めた経費(1/2)	協議会の運営事務費 ※賃金、謝金、旅費、その他水産庁長官が認めた経費(定額) 実行のための経費 ※国内旅費及び外国旅費、コンサルティング等による委託費、商談会等出店経費、新商品成分分析費、冷凍・冷蔵施設等の施設借料、共同在庫管理用のための電子システムの賃借料、産地情報発信のためのWebサイト構築費、省力化・新商品開発等のための機器の賃借料、パッケージデザイン費・包装資材費、役務費、消耗品費、その他水産庁長官が認めた経費(1/2)
その他		水産庁長官が認定した事業実施者は、別の補助事業(水産加工・流通構造改善取組支援事業の連携プロジェクト)に機器導入を申請する要件を備えることとなります。



事業の位置づけ（中長期計画）

1年目

産地水産加工業イノベーションプラン支援事業

産地水産加工業活性化推進検討会

【取組内容】

所属する水産加工業協同組合内の仲間(若手経営者チーム)で、**足りない点**や**改善したい点**を抽出。

【支援内容】

- 1 講師等を招いて開催する講義や議論のための経費を支援
- 2 先進地や消費動向を把握するための調査・視察の経費を支援

※共通課題抽出、解決手段の検討結果がある協議会は、**直接イノベーションプランに課題提案**できます。

2年目

産地水産加工業イノベーションプラン

【取組内容】

域内4者以上の水産加工業者が、関係機関や異業種と連携して(**プラン協議会**)、課題解決に取り組むための費用を支援。

【支援内容】

域内共通課題解決の具体的行動を支援
例：新商品の開発
新たな原材料の調達
協業のためのシステム開発
プロモーション
加工機器類の賃借・選定 等

3年目

水産庁の
機器整備の補助事業を活用

産地水産加工業イノベーションプラン支援事業で得られた知見やノウハウを活かして、水産庁の機器整備に要する経費に対して支援される補助事業を活用できます。

水産庁長官
による**優良
事例認定**

※水産庁長官による優良事例の認定を受けた課題提案書は**審査において加点**される可能性があります。
注：優良事例として認定されても審査を通らない場合があります。

イノベーションプラン参考事例

- 複数のかまぼこ業者で地域の間伐材を活用したかまぼこを製造・販売
- スズキやクロダイなど、地元の忘れられつつある沿岸魚を使った総菜品を製造一丸となってインバウンド向けのPR・販売促進を展開
- 若手漁業者グループと協働して、未利用魚の一貫した鮮度管理・無駄なコスト削減
- 高速バスの貨物スペースを活用した、消費地外食業者への地元水産物活用提案
- 感染症対策として広がりつつあるWeb会議システムを使った、ひと手間加えた加工品教室&試食会

